



11月のはなし

朝晩、少し肌寒いなど感じる日があるこの頃です。それでも昼間はまだまだ暑い日があります。暑くても子どもたちは元気に園庭で遊んでいます。

秋と言えばスポーツの秋ですね。10月10日は1964年の初めての東京オリンピックの開会式の日です。私は中学生でしたが、学校でもテレビで観戦していました。マラソンのアベベ選手、東洋の魔女と言われた女子バレーボールなど、今でも脳裏に焼き付いています。

さて、10月に開催された杭州アジア大会では、日本は金メダル52個、銀メダル67個、銅メダル69個、合わせて188個のメダルを獲得しました。素晴らしい活躍でした。

沢山のメダリストの中で、やり投げ金メダルの北口榛花さんの笑顔がとても素敵でしたね。(因みに名前の漢字は「はしばみ」でヘーゼルナッツのことだそうです。)

感動的だったのは、競泳の池江璃花子さんですね。最後の種目で銅メダルがとれた時は感動しました。白血病という病を乗り越え、メダルをとれたことは、いろいろな病気と闘っている子どもたちの希望になったことと思います。

そして忘れてはいけないのは2024年パリ五輪の切符を獲得した男子バレーボールです。代表の石川祐希さんは星城高校の出身なので、何か、身内のような誇らしい気持ちになります。そんな石川選手ですが、星の城幼稚園に大型絵本「みんなでんしゃ」を贈呈してくださっています。石川選手の話をしながら、子どもたちに読み聞かせをしたいと思います。

いよいよ、14日は運動会です。子どもたちも楽しみにしています。当日は保護者の皆様にもいろいろご協力をいただきたいと思います。優先席はスポーツマンシップにのっとり譲り合って、ご観覧ください。そして、頑張る子どもたちに温かい声援をお願いします。

園長 宇佐美すみれ

